

建築基準法施行規則第一条の三第4項表一(四)項に基づく図書の標準書式

浄化槽調書

1	建築主住所氏名				
2	施設の名称 (未定の場合は記入不要)				
3	建築場所	(地名地番)			
		(住居表示)			
4	建築物用途				
5	浄化槽の概要	製造又は設計業者			
		名称(型式)・処理方式	・		
		型式認定番号			
		処理対象人員及び 算定根拠	人 (算定式:)		
		浄化槽人槽	人槽	日平均汚水量	m ³ /日
		放流水の水質	BOD	mg/l	
全窒素	mg/l				
全りん	mg/l				
6	放流先又は放流方法	① 側溝 ②水路 ③その他()			
7	使用開始(予定)年月日				
8	浄化槽工事(予定)業者 (未定の場合は記入不要)	(氏名又は名称) (登録又は届出番号)	知事(-)第	号	
9	備考				
※確認番号・年月日					

- 放流先又は放流方法の欄は該当する事項を○で囲み、③その他には①、②以外の放流先または放流先のない場合の処理方法を記入すること。
- 裏面に記載する浄化槽の関係資料を添付すること。
- 処理対象人員を JIS A 3302-2000 のただし書きにより実情に合わせて算定した場合は、別途根拠資料を添付すること。
- ※欄には記入しないこと。

添付図書

1. 浄化槽処理水の放流経路、放流先^{※1}及び付近の状況を示した見取り図
2. 浄化槽の配置図、敷地内排水経路図
3. 処理対象人員算定書^{※2}
4. 汚水量及び流入水の生物化学的酸素要求量に関する説明書^{※3}
5. 認定書の写し^{※4}

※1 処理水の放流先がなく、蒸発散方式等の処理装置を使用する場合は、千葉県浄化槽取扱指導要綱で定められる「放流先がない場合の浄化槽放流水の処理に係るガイドライン」で規定される基準に適合しているかどうか確認できる図書(装置の認定書の写し、設置詳細図等)

※2 戸建住宅等の人員算定式を、表面の「処理対象人員及び算定根拠」の欄内に記入できる場合は、処理対象人員算定書を省略できる。

※3 汚水量及び流入水の生物化学的酸素要求量を、「浄化槽の構造基準・同解説」等の文献に記載されている JIS の参考値を用いて算定する場合には、その旨を備考欄に記入することにより説明書を省略できる。

※4 大臣認定を受けていない浄化槽の場合は、次にあげる図書

ア 構造詳細図(平面図、水平断面図、縦横断面図)

イ 処理工程図

ウ 設計計算書及び構造機能を証する関係技術資料など告示等の規定に適合していることを証する図書